NIE実践報告

１．タイトル：HRと部活動におけるNIEの活用

２．学校名

札幌静修高等学校

３．実践者名（代表者名）

岡部泰子

４．学年

全学年及び放送局

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

HR（270名）、放送局（９名）

６．単元（本時の学習課題）名

７．目標(狙い)

NIE活用の新たな分野と方向性を探り、生徒に情報との上手なつき合い方を身につけさせる。

８．評価の視点

新聞情報を的確に読み取り、そこから自分の意見や感想を生み出すことができたか

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

毎週金曜日の朝読時（HR実践）、大会参加のための素材探し（放送局）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

<HR実践>
・読売新聞ワークシートを全校生徒に配布し、朝読時の10分間で取り組ませる。
・担任が目を通し、コメントなどをすることで生徒とのコミュニケーションを図る。
・ワークシートの内容について各教科やHRなどで取り上げ、より掘り下げた解説などを加えて生徒の知識・理解を深めさせる。

<部活動実践>
・新聞から情報を得ることで、部活動（大会参加）のための素材探しを行う。
・情報の取捨選択を行うことで、メディアリテラシー能力を養う。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

<HR>実践当初は読み取りに必死だったが、次第に意見を述べるようになり、担任とのコミュニケーションを楽しみにするようになった。
<部活動>身近なニュースや情報を自ら取り入れようとする意識を持つようになった。

12．成果と課題

<HR>「読む」ことに慣れることはできたが、そこから類似のニュースやその後の追跡調査に関心を抱くまでには至らなかった。
<部活動>情報をいかに自分たちの活動に活かすかを考えるようになったが、個人の興味の度合いに差が生まれた。